

科目	成人・老年看護実習Ⅲ(退院支援看護実習)				
時間数	1単位 40時間	授業方法	実習	授業時期	3年
実習場所	十全総合病院(一般病棟、入退院支援センター)				
ねらい	退院に向けて患者の身体的状況や患者・家族のニーズを幅広く受け止め、ニーズに応える看護を提供するという目的意識をもって、多職種と連携、協働して退院支援に取り組む。				
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病院から地域への退院支援を理解する。</li> <li>2. 退院に向けて患者の身体的状況や患者・家族のニーズを幅広く受け止め、ニーズに応える看護を理解する。</li> <li>3. 多職種と連携、協働して、退院支援に取り組むことを理解する。</li> </ol>				
授業計画					
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病棟で退院調整の必要な患者の看護</li> <li>2. 入退院支援センター実習</li> </ol>				
評価方法	成人・老年看護学実習Ⅲ評価表、適性態度評価表を総合して評価する				

科目	成人・老年看護実習Ⅳ(慢性(リハビリ)期・終末期看護実習)				
時間数	2単位 80時間	授業方法	実習	授業時期	3年
実習場所	十全総合病院(一般病棟、透析室)				
ねらい	慢性疾患の看護(急性増悪・リハビリ)を必要とする対象、及び終末期にある対象を受け持ち、現病歴はもとより既往症にも目を向け、患者の生きてきた「病みの軌跡」を理解することを通して、患者と家族の現在と今後に寄り添う看護の在り方を考える事ができる。				
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 慢性期にある対象がどのような問題を抱え、ニーズを持っているかを理解することができる。</li> <li>2. 慢性期にある対象が、疾患と折り合いをつけながら、安心して療養するための援助ができる。</li> <li>3. 慢性期にある対象とその家族への看護のあり方について、自分の考えを述べる事ができる。</li> <li>4. 終末期にある対象がどのような問題を抱え、ニーズを持っているかを理解することができる。</li> <li>5. 終末期にある対象およびその家族の意向に沿った援助と、苦痛緩和にむけた具体的な援助を理解することができる。</li> <li>6. 終末期にある対象とその家族への看護のあり方について、自分の考えを述べる事ができる。</li> </ol>				
授業計画					
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 透析室実習</li> <li>2. 病棟実習</li> </ol>				
評価方法	成人・老年看護学実習Ⅳ評価表、適性態度評価表を総合して評価する				